

# しまね 労福協 ニュース

2024 新年号  
No.428

発行/一般社団法人 島根県労働者福祉協議会  
発行人/門脇 大地  
〒690-0007 松江市御手船場町 557-7  
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303  
ホームページアドレス: <http://shimane.rofuku.net/>  
E-メール: [rofuku@gaea.ocn.ne.jp](mailto:rofuku@gaea.ocn.ne.jp)  
発行月 (6・10・1・3月発行)



## 新年あいさつ

一般社団法人 島根県労働者福祉協議会  
理事長 須田 晋次

新年あけましておめでとうございます。

多くの皆様から、島根県労働者福祉協議会に対しご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げますとともに、本年も引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

島根県労福協は、1972年に労働団体・労働金庫・全労済・生活協同組合等が、労働者の幸福を追求し、相互扶助・共助の活動体として設立した労働者自主福祉組織です。昨年6月に開催した定期総会においても、改めて「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をめざす」との目標を確認し、目標の達成・実現にむけ様々な活動に取り組んでいます。

島根県労福協の主な活動は、次のとおりです。

①日々の暮らしや仕事で発生する様々な悩み事に生活相談・労働相談を行う「くらしサポートセンター事業」(島根労働会館別館に常設のほか、2023年は大田・浜田・益田での出張相談会を実施)

②「就労こそ最大の福祉」の理念のもとで、中高年齢者や女性への就職相談や職業紹介を行う「就職サポートセンター事業」(島根労働会館・ゆめタウン浜田に常設)

これらの事業はワンストップを基本とした「寄り添い型・伴走型」で行っており、利用者・関係機関からはその丁寧な対応を評価いただいています。

### 事業団体等



中国労働金庫  
北部エリア営業本部  
本部長  
仲田 敏幸



こくみん共済coop  
島根推進本部  
本部長  
原田 圭介



連合島根  
会長  
成相 善朗



島根県生活協同  
組合連合会  
会長理事  
矢倉 淳

### 地区会長



安来地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
田中 環樹



松江地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
金乗 厚



雲南地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
安部 潤



出雲地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
三宅 修



大田地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
柿田 賢次



江津地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
道下 学



邑智地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
和田 哲也



浜田地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
尾門 忠弘



益田地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
大森 潤一



隠岐地区  
労働者  
福祉協議会  
会長  
木村 武司

### 編集委員

中谷和史  
片寄幸正  
門脇大地

### 監事

赤名正子  
前田陽生  
青木政史  
木村武司  
大森潤一  
竹内正行  
道下学  
和田哲也  
柿田賢次  
妹尾慶彦  
安部潤  
澤田拓也  
高塚将史  
景山誠  
岸本武士  
門脇直人  
島田一英  
乗本克己

### 理事

専務理事 島田政己  
副理事長 金坂隆  
副理事長 原田圭介  
副理事長 仲田敏幸  
副理事長 成相善朗  
理事長 須田晋次

(敬称略)

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

本年も宜しく  
お願い申し上げます。



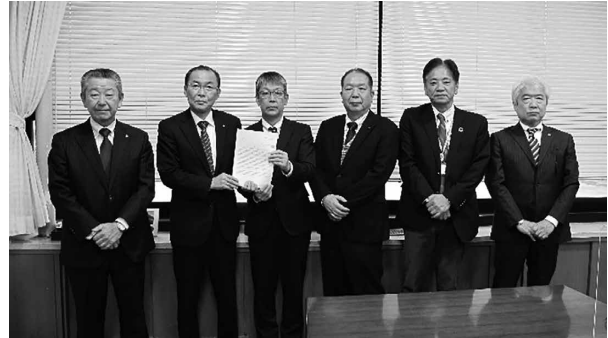
## 島根県へ2024年度政策・制度要請を実施

11月24日（金）、島根県庁において2024年度の政策制度要請を行いました。

県労福協からは、須田理事長（連合島根副会長）、成相副理事長（連合島根会長）仲田副理事長（中国労働金庫北部エリア営業本部本部長）、原田副理事長（こくみん共済coop 島根推進本部本部長）、金坂専務理事、門脇事務局長の6名が参加し、県からは松尾副知事、新田商工労働部長、日下女性活躍推進統括官、加藤企画局次長、細田雇用政策課長に対応いただきました。

冒頭、須田理事長から「日頃より、県民の生活福祉向上に尽力されていることに敬意を表す。コロナ禍から脱したとはいえ、物価高騰など生活に苦しんでいる方は多く、支援を求めている方もまた多くいるのが現状。助け合い、支えあいの地域社会づくりを目指し、顔の見える自主福祉運動を邁進していきたい。今回、福祉の増進をはかるため要請事項を提出した。今後の県政に反映いただけるよう、よろしく願いたい。」と挨拶しました。

引き続き、金坂専務が下記の要求内容・趣旨について説明を行いました。



- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 「労働者福祉運動の育成・強化」について             | 5. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化 |
| 2. 中高年齢者及び女性の就労支援事業の継続について         | 6. 消費者政策の充実強化                   |
| 3. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化 | 7. 安心、信頼できる社会保障の構築              |
| 4. 持続可能な社会づくりに向けた協同組合の育成・支援        |                                 |

松尾副知事より「相談や就職の活動についてしっかりと実績を出してもらっている。特に就職については素晴らしい数字を出してもらっている。物価高騰の中で県としても生活にゆとりが持てる政策を行っているが、働く場が一番大事。暮らしのサポートや就労支援事業など行政の補完をしていただいていることに感謝申し上げる。要望について内容は県の目指す方向と同じなので、しっかり受け止め予算編成で応えていきたい。」との挨拶を受けました。

要請事項についての回答は1月末日を要望しています。

## フードバンクしまね「あったか元気便」の活動について

冬休み元気便の取組みとして、11月よりフードドライブ活動を行い、多くの食料品をいただきました。引き続き12月11日から19日にかけて、集まったお米やお菓子などの食料品のパッキング活動を行いました。多くのボランティアの方々の協力により箱詰めされた食料品は、手渡し（201世帯）・宅配便（320世帯）の方法で松江市の就学援助家庭521世帯、家族1,902人に届けられました。今回もフードドライブでの食品提供、食品仕分けやパッキングにあたって連合島根をはじめとする各労働組合、中国労金、こくみん共済coop等から多くのボランティアの協力により冬休みに向けての取組みを無事終えることができました。

また12月5日、連合島根より昨年に引き続き社会貢献活動の一環として玄米420キロをフードバンク「あったか元気便」へ寄贈していただく、贈呈式がおこなわれました。

今後もフードバンク活動を積極的に取り組んでいきますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。



連合島根より玄米の寄贈

## 福祉事業団体利用拡大キャンペーンの中間実績報告

「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」は10月から12月の3カ月間を設定しており、10月3日（火）に県労福協、中国労働金庫、こくみん共済coopの三者で松江市内産別組織（連合島根、UA ゼンセン、JAM 山陰、山陰電力総連、県高教組、自治労県本部、交通労連県支部、電機連合島根地域協議会、運輸労連県連合会、情報労連県協議会、JP労組県連絡協議会）を訪問し、協力要請を行いました。今年度も要請をより効果的なものにするため各組織トップ（理事長、本部長）による訪問としました。

下記のとおり各地区労福協の中間報告をします。

各地区の実績に濃淡が見られますが、年度末の目標達成に向けて、地区労福協、労金部会、労済部会、中国労金、こくみん共済coopが一体となって取組まれるよう意思統一をお願いします。

### 2023 福祉事業団体利用拡大キャンペーン 取組み目標（2023年10月～12月）と中間実績

#### 中国労金

地区名 推進項目	安 来	松 江	隠 岐	雲 南	出 雲	大 田	江 津	邑 智	浜 田	益 田	合 計
他社ローン借換件数 (有担保・無担保・カード)	20	40	3	8	45	12	6	4	10	10	158
〓11月末実績	1	5	0	3	6	1	1	0	3	5	25
給与振込指定 新規契約件数	30	100	5	13	85	26	10	3	12	15	299
〓11月末実績	7	8	0	2	15	1	0	0	4	6	43
組合機関会議への 参加回数	18	60	3	8	15	10	8	7	15	5	149
〓11月末実績	6	12	1	6	5	1	1	2	2	3	39

#### こくみん共済coop

地区名 推進項目	安 来	松 江	隠 岐	雲 南	出 雲	大 田	江 津	邑 智	浜 田	益 田	合 計
7オの交通安全プロジェクト マイカー共済給付見知り目標（職域）	43	66	5	13	61	13	13	6	30	25	275
〓11月末実績	30	21	0	6	58	0	2	0	1	2	120
こくみん共済lifeサポート取り組み マイページ・アプリ登録目標	1240	880	23	220	728	177	89	-	109	134	3,600
〓11月末実績	369	216	1	99	276	56	10	-	19	30	1,076
こくみん共済lifeサポート取り組み キャンペーン登録目標	724	514	14	129	425	104	51	-	64	78	2,103
〓11月末実績	304	205	1	73	187	5	0	-	0	13	788

## こくみん共済coop 「防災・減災」、「こども健全育成」の取り組みを展開



こくみん共済coop 島根推進本部  
(島根県労働者共済生活協同組合)

11月23日（木・祝）地SUN地SHOW祭り（連合島根主催 くにびきメッセ）において、「防災・減災」および「子どもの健全育成」をテーマに、震度6強の揺れを仮想体験できるVR地震体験・過去に起きた自然災害の写真パネル展示と子ども向け巨大迷路を会場に設置し、来場された皆さまに体験と楽しい時間を過ごしていただきました。

VRで地震体験をいただいた方は、「仮想だけど怖い、実際の経験はないけど遭遇すると身動きが取れないと思う」などの感想をいただきました。また、会場へ設置した迷路では多くの子どもたちが迷路に挑戦し、自力で脱出できる子どもたちもいれば、お父さん・お母さんに教えてもらいながら出口に向かう子どもたちもいて、笑い声が会場に絶えず響いて楽しい時間を過ごしていただきました。

こくみん共済coopは、これからも組合員皆さまのご協力のもと、様々な社会貢献活動を始めた「防災・減災」「子どもの健全育成へのサポート」など積極的に展開してまいりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。



## Kidsベースボールクラブ（邑智支部）が初の栄冠に輝く!! 第20回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権記念大会県決勝大会



第20回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権記念大会  
島根県決勝大会が、10月28日（土）、29日（日）に松  
江市の深田運動公園野球場で開催されました。

大会1日目は秋空の下、各地区代表8チームによる  
計4試合が行われました。続く大会2日目は準決勝と  
決勝が行われ、決勝戦は息詰まる投手戦を制して邑智  
地区代表の「Kids ベースボールクラブ」が見事初優勝  
を果たし、準優勝の隠岐アキレスとともに12月2日（土）、  
3日（日）にマツダスタジアムで開催された中国決勝  
大会へ駒を進めました。

しかし残念ながら中国決勝大会では、両チームとも  
に善戦及ばず1回戦で涙をのみました。大変お疲れ様  
でした。

各試合の結果は次のとおりです。



Kids ベースボールクラブ（邑智支部）

### 〔10月28日〕

- 【第1試合】 Kids ベースボールクラブ（邑智）11-0 出雲西南ジュニアベースボールクラブ（出雲）
- 【第2試合】 西部野球スポーツ少年団（浜田）6-7 玉湯ジャイアンツ（松江）
- 【第3試合】 塩冶野球スポーツ少年団（出雲）7-8 大田スポーツ少年団（大田）
- 【第4試合】 隠岐アキレス（隠岐）15-1 三隅少年野球クラブ（浜田）

### 〔10月29日〕

- 【準決勝①】 Kids ベースボールクラブ7-5 玉湯ジャイアンツ…タイブレーク
- 【準決勝②】 大田スポーツ少年団3-5 隠岐アキレス…タイブレーク
- 【決 勝】 Kids ベースボールクラブ1-0 隠岐アキレス



## 〔20周年記念事業〕 社会貢献団体への寄付を実施

社会的な役割を發揮している社会貢献団体への支援  
を通じて地域への「感謝」の思いを伝えることを目的  
として、中国ろうきん統合20周年記念事業における「社  
会貢献活動」が実施されることとなり、各県で社会貢  
献団体への寄付が行われています。

島根県ではこれを県が運営している「しまね社会貢  
献基金」に対して行うこととなり、11月16日（木）に  
県庁において贈呈式が行われました。

贈呈式には仲田本部長と事務局が出席し、仲田本部  
長より丸山知事へ寄付金50万円の目録が渡された後、  
知事よりお礼の言葉が述べられました。

寄付金の使途は、「子育てや社会教育の推進」をテー  
マとして活動するNPO団体への助成として、今回の寄付を受けて12月にテーマ事業の実施団体を公募し、来年  
2月に採択される予定となっています。

中国ろうきんの社会貢献活動については、第7期中期経営計画の中でも「会員・利用者と社会貢献団体をつな  
ぐ施策」として具体策が示され、NPO 寄付システムなどの各種取組みが展開されています。こうした取組みに引  
き続き積極的にかかわっていくことで、ろうきんの社会的役割をきちんと果たしていくとともに、ろうきん運動  
のクオリティーをさらに高めていきたいと考えています。

